

協会けんぽのジェネリック医薬品 使用促進に向けた取り組み アンケート集計結果

平成31年1月

アンケートについて

対 象 使用数量 15,000以上の保険薬局
後発医薬品使用割合
高い・・・80%以上 302局
低い・・・70%以下 119局 合計421局にアンケートをお願いしました

時 期 平成30年12月

回答率 後発医薬品使用割合80%以上・・・63.9%

後発医薬品使用割合70%以下・・・63.0%

アンケートの結果につきましては、今後の後発医薬品使用促進に向けて貴重なご意見として活用させていただきます。
ご協力ありがとうございました。

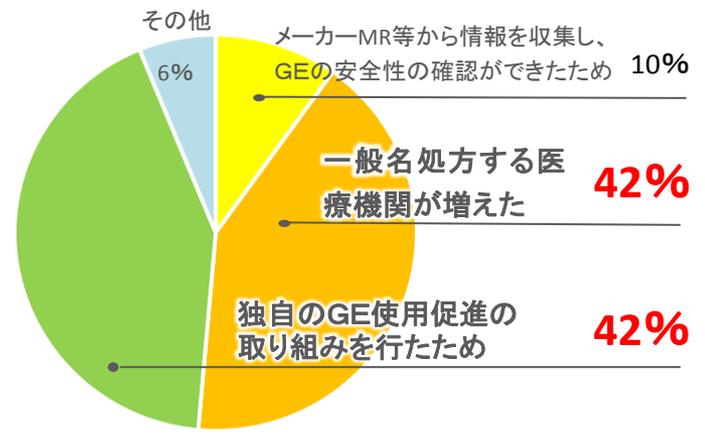


保険薬局に向けたアンケート結果



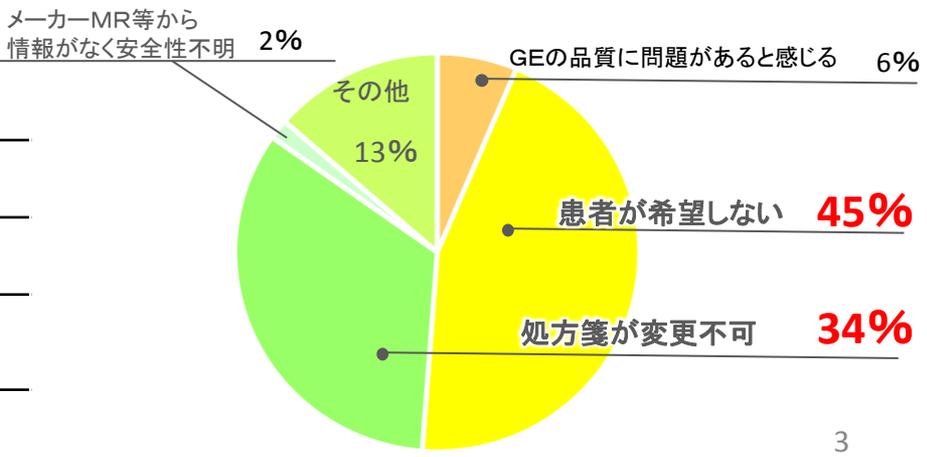
貴薬局において処方された医薬品にかかる後発医薬品の使用割合が高い状況です。
 その要因について、該当する項目の記号に○をつけてください（複数回答可） **回答率 63.9%**

a. メーカーのMR等から情報を収集し、後発医薬品の安全性の確認ができたため	10%
b. 一般名処方をする医療機関が増えたため	42%
c. 貴薬局において、後発医薬品の使用促進の取り組みを行ったため	42%
d. その他	6%



貴薬局において処方された医薬品にかかる後発医薬品の使用割合が群馬支部平均より低い状況です。
 その主な事情について、該当する項目の記号に○をつけてください（複数回答可） **回答率 63.0%**

a 後発医薬品の品質に問題があると感じるため	6%
b 患者が後発医薬品の使用を希望しないため	45%
c 処方箋が変更不可となっているため	34%
d メーカーのMR等から品質に関する情報がなく、後発医薬品の安全性を確認できないため	2%
e その他	13%



低



具体的な事情を教えてください

主なご意見

- 処方医の意向（変更不可）による
- 高齢者への対応について
- 生保、福祉受給者に対するもの
- メーカー都合の中止、使用量の多い薬剤にG Eがない、安定供給の不安、MRが来ない等の製薬メーカーに関すること
- 患者の意向（疾患により薬への拘りが強い）
- 医療従事者のG E拒否が多い

圧倒的に処方医の意向により変更ができないとの回答が多い結果となりました。

次に多かったご意見が、自己負担がない方の先発希望について、高齢者の理解度の問題でした。

低

Q

他の薬局の取り組みで知りたいことなど



主なご質問

- 効果的な指導方法について
- 患者を安心させる声掛けの方法について
- G E 選びの情報収集について
- A G の勧め方について
- 処方医への交渉の方法、連携不足に対するアプローチ方法について
- 自己負担がない方への切り替えの勧め方について
- 患者の G E 理解度を上げる方法